



平成25年11月11日

各 位

会 社 名 株式会社 石井工作研究所
 代表者名 代表取締役社長 石井 見 敏
 (コード番号・6314)
 問 合 せ 先
 役職・氏名 取締役総務経理部長 辻 野 治 弘
 T E L (097)544-1001

平成 26 年3月期第2四半期累計期間における業績予想値と実績値との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 25 年5月 14 日に公表した平成 26 年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、平成 26 年3月期通期の業績予想につきましても、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 26 年3月期第2四半期累計期間業績予想値と実績値との差異について

平成 26 年3月期第2四半期(累計)個別業績予想との差異(平成 25 年4月1日～平成 25 年9月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	1,700	20	30	125	16.08
今 回 実 績 (B)	1,251	△231	△213	△106	△13.73
増 減 額 (B-A)	△449	△251	△243	△231	
増 減 率 (%)	△26.4	—	—	—	
(ご参考) 前 期 第 2 四 半 期 実 績 (平成 25 年3月期第2四半期)	1,116	△169	△158	△223	△28.79

2. 平成 26 年3月期通期業績予想の修正について

平成 26 年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成 25 年4月1日～平成 26 年3月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	3,600	45	65	145	18.65
今 回 修 正 予 想 (B)	3,220	△230	△205	△86	△11.06
増 減 額 (B-A)	△380	△275	△270	△231	
増 減 率 (%)	△10.6	—	—	—	
(ご参考) 前 期 実 績 (平成 25 年3月期)	2,350	△322	△318	△394	△50.81

差 異 及 び 修 正 の 理 由

(第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異)

当第2四半期累計期間につきましては、売上高の約9割を占める半導体関連事業において半導体の主要セット製品の低迷が続いているものの、スマートフォンやタブレット端末などの多機能機器は好調であり、パワー半導体など産業向けが堅調で、全体として持ち直しの動きがみられるなかで、受注が増加に転じましたが、出荷遅れが続き、売上高は前回(平成25年5月14日)発表致しました予想を449百万円(減少率26.4%)下回りました。

損益につきましては、引き続き仕入原価の低減や経費節減を図っておりますが、売上げの伸び悩みに加え、価格引下げ圧力も強く、前回発表予想に比べて営業損失は251百万円増加して231百万円となり、経常損失は243百万円増加して213百万円となりました。また、四半期純損失は231百万円増加して106百万円となりました。

(通期の業績予想の修正)

通期につきましては、厳しい環境が続きますが、パワー半導体及び車載用製造装置を中心に受注は増加しており、売上高は増加するものと予想しております。しかし、第2四半期累計期間の不振を挽回するには至らず、前回発表の予想を380百万円下回って3,220百万円(減少率10.6%)に修正いたします。

損益につきましては、受注条件が引き続き厳しく、営業損失は230百万円(前回予想比収益減少額275百万円)、経常損失は205百万円(同270百万円)、当期純損失は86百万円(同231百万円)に修正いたします。

※ 上記記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

※ 上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上